

# 第1学年 社会科指導計画表

使用教科書	使用補助教材	教科担当者	時数
中学生の地理(帝国書院) 中学生の歴史(帝国書院) 中学校社会科地図帳 (帝国書院)	最新歴史資料集(明治図書) 最新地理資料集(明治図書) 歴史の完全学習1(正進社) 地理の完全学習1(正進社)	1,3,6,7組 伊藤 由紀子 2,4,5組 長江 恭子	週3時間 年105時間

## 1 教科目標

広い視野に立って社会に対する関心を高め、様々な資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深める。そして、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者としての必要な公民的資質の基礎を養う。

- (1) 地理的分野では、日本や世界に対する関心を高め、その地域の特色や課題を様々な資料を適切に考察しながら、共通性や特殊性を多面的・多角的に認識するとともに、それを表現する能力や態度を育てる。
- (2) 歴史的分野では、日本や世界の歴史的事象に対する関心を高め、その時代の特色や時代の変容について様々な資料を適切に活用しながら理解するとともに、それを多面的・多角的に考察し表現する能力や態度を育てる。
- (3) 公民的分野では、現代の社会的事象に対する関心を高め、民主主義の意義、国民生活や経済活動、国際関係や世界平和について様々な資料を適切に収集し、多面的・多角的に考察しながら適切に表現する能力や態度と公民としての必要な教養を培う。

## 2 評価の観点と評価方法

観 点	観 点 ご と の め あ て
	評 価 の 方 法
社会的事象への関心・意欲・態度	社会に関心を持ち、授業に意欲的に取り組むことができる。 授業への参加姿勢、学習課題や自己評価カードへの取り組み方、提出物など
社会的な思考・判断・表現	社会的事象の意義や特色、課題について、多面的・多角的に考察している。 定期考査、授業中の発表の様子、話し合い活動の様子、自己評価カードなど
資料活用能力	さまざまな資料から有用な情報を適切に選択し、読み取ったり図表などにまとめている。 定期考査、学習課題への取り組み方
社会的事象についての知識・理解	社会的事象の意義や特色、相互の関連を理解し、その知識を身に付けている。 定期考査、学習課題(朝学習、自主学習、予習プリントなど)への取り組み方

## 3 学習計画

【1学期】

月	題 材	時数	学 習 の ね ら い	備 考
4	オリエンテーション 地理1章 世界の姿 1 地球をながめて 2 世界の主な国 3 緯度と経度 4 地球儀と世界地図の違い	1 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業での準備物、約束を確認する。</li> <li>・ 世界や日本の姿を大観する。</li> <li>・ 面積等に注目して世界の姿を大観する。</li> <li>・ 緯度や経度を使って位置を表現する。</li> <li>・ 地球儀と世界地図の構造を理解する。</li> </ul>	仙台市標準学力 検査 4月11日(木)
5	地理2章 世界各地の人々生活と環境 1 世界各地の市場をながめて 2 暑い地域のくらし 3 寒い地域のくらし 4 乾燥した地域のくらし 5 高地のくらし 6 世界の住居・衣服とその変化 7 世界の食文化とその変化 8 宗教と生活のかかわり	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域のような人や人々の生活のようすを読み取る。</li> <li>・ 暑い地域の気候の特色等を読み取る。</li> <li>・ 寒い地域の気候の特色等を読み取る。</li> <li>・ 乾燥した地域の気候の特色等を読み取る。</li> <li>・ 高地の気候の特色等を読み取る。</li> <li>・ 世界各地の住居と衣服の特色を知る。</li> <li>・ 世界各地の食文化の特色を知る。</li> <li>・ 世界の主な宗教の分布や特色を理解する。</li> </ul>	
6	歴史1部 歴史の流れと時代区分 歴史2部 古代国家の成立と東アジア 1 人類の登場から文明の発生へ 2 東アジアの中の倭(日本)	2 4 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歴史を学ぶ意義を知る。</li> <li>・ 文明と技術の発達・文字使用・国家の起こり・宗教の始まりの関わりに気付く。</li> <li>・ 縄文時代から古墳時代への社会の変化をとらえ、東アジアとの関わりが社会の大きな変化につながったことを理解する。</li> </ul>	1 中間考査 6月18日(火)
7	3 中国にならった国家づくり 4 展開する天皇・貴族の政治	4 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 律令国家が確立し、国家のしくみが整えられたことを理解する。</li> <li>・ 摂関政治など、天皇や貴族の政治の展開について</li> </ul>	

8	地理3章 世界の諸地域		て理解する。	実力考查 8月22日(木)
9	1 アジア州	6	・ アジア州の特色を人口や貿易品の変化の視点から追究する。	1学期期末考查 9月17日(火)
10	2 ヨーロッパ州	5	・ ヨーロッパ州を地域間の結びつきの視点から追究する。	18日(水)

### 【2学期】

月	題 材	時数	学 習 の ね ら い	備 考
10	歴史第3部 武家政権の成長と東アジア			
	1 武士の世の始まり	4	・ 天皇・貴族の政治と武家政権を比べて、古代から中世への転換について考察する。	
11	2 武家政権の内と外	4	・ 東アジア世界との密接な関わりや、それが国内に及ぼした影響などをとらえる。	2学期中間考查 11月18日(月)
	3 人々の結びつきが強まる社会	5	・ 諸産業の発達や自治的なしくみの成立など、社会の大きな変化を理解する。	
12	地理3章 世界の諸地域			
	3 アフリカ州	4	・ アフリカ州の特色を歴史的背景の視点から追究する。	
	4 北アメリカ州	5	・ 北アメリカ州の特色を産業の視点から追究する。	
1	歴史第4部 武家政権の展開と世界の動き			
	1 大航海によって結びつく世界	3	・ 新航路の開拓や宗教改革などのヨーロッパ世界の変化が日本に与えた影響について理解する。	実力考查 1月9日(木)
	2 戦乱から全国統一へ	3	・ 織田信長や豊臣秀吉の行ったことを理解し、中世までとは異なる社会が生まれたことをとらえる。	
2	地理3章 世界の諸地域			
	5 南アメリカ州	5	・ 南アメリカ州の特色を環境問題の視点から追究する。	学年末考查 2月12日(水)
	6 オセアニア州	4	・ オセアニア州の特色を移民や多文化社会の視点から追究する。	13日(木)
3	地理4章 世界のさまざまな地域の調査	4	・ 世界の諸地域における諸事象を取り上げ、地理的なまとめ方の基礎を身に付ける。	

## 4 授業への取り組み方、準備物

- ・ 毎時間のねらいや課題を確認してから授業に臨みましょう。
  - ・ 忘れ物をしないように気を付け、提出物の期限を守るよう心掛けましょう。
  - ・ 黒板に書かれたものをノートに写すことだけに集中しないようにしましょう。
  - ・ ただ知識を暗記するだけではなく、その知識を活用して、社会の出来事について考えたり表現したりする力が大切です。
  - ・ 友達の発表を聞いて、自分の考えと比べ、理解を深められるようにしましょう。
- 準備物 教科書、ノート、地図帳
- ・ その他、補助教材等は各担当から授業ガイダンスで連絡をします。
  - ・ ノートは地理・歴史・公民の分野ごとに別なノートを準備します。

## 5 家庭での学習方法

- (1) 予習の仕方：教科書をしっかり読み、重要語句について調べましょう。単に暗記するのではなく、「なぜ？」という疑問をもとに調べるとよいでしょう。
- (2) 復習の仕方：授業で進んだ範囲のワーク（「完全学習」）に取り組みましょう。テスト前に一気にやるのではなく、授業があったその日のうちに復習をしましょう。テスト前にもう一度やれば万全です。
- (3) 新聞を読んだり、ニュースを見たりしましょう。ニュースで出てきた地名を地図帳で調べるのも有効です。現在社会で起きている出来事に関して自分の意見や考えを持つことも大切です。

平成 31 年度 **第 2 学年 社会科指導計画表**

使用教科書	使用補助教材	教科担当者	単位数
中学生の地理 (帝国書院) 中学生の歴史 (帝国書院) 中学校社会科地図 (帝国書院)	ビジュアル地理 (とうほう) よみとき総合歴史 (浜島書店) 地理の完全学習 (正徳社) 歴史の完全学習 (正徳社)	1～6組 橋本 勇人	週3時間 年105時間

**1 教科目標**

広い視野に立って社会に対する関心を高め、様々な資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深める。そして、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者としての必要な公民的資質の基礎を養う。

- (1) 地理的分野では、日本や世界に対する関心を高め、その地域の特色や課題を様々な資料を適切に考察しながら、共通性や特殊性を多面的・多角的に認識するとともに、それを表現する能力や態度を育てる。
- (2) 歴史的分野では、日本や世界の歴史的事象に対する関心を高め、その時代の特色や時代の変容について様々な資料を適切に活用しながら理解するとともに、それを多面的・多角的に考察し表現する能力や態度を育てる。
- (3) 公民的分野では、現代の社会的な事象に対する関心を高め、民主主義の意義、国民生活や経済活動、国際関係や世界平和について様々な資料を適切に収集し、多面的・多角的に考察しながら適切に表現する能力や態度と公民としての必要な教養を培う。

**2 評価の観点と評価方法**

観点	観点ごとのめあて
	評価の方法
社会的な事象への関心・意欲・態度	社会に関心を持ち、授業に意欲的に取り組むことができる。 授業への参加姿勢、学習課題や自己評価カードへの取り組み方、提出物など
社会的な思考・判断・表現	社会的な事象の意義や特色、課題について、多面的・多角的に考察している。 定期考査、授業中の発表の様子、話し合い活動の様子、自己評価カードなど
資料活用能力	さまざまな資料から有用な情報を適切に選択し、読み取り図表などにまとめている。 定期考査、学習課題への取り組み方
社会的な事象についての知識・理解	社会的な事象の意義や特色、相互の関連を理解し、その知識を身に付けている。 定期考査、学習課題(朝学習、自主学習、予習プリントなど)への取り組み方

**3 学習計画**

【1 学期】

月	題材	時数	学習のねらい	備考
4	○ オリエンテーション ○ 世界と比べた日本の地域的 特色	1	・ 授業での準備物 約束を確認する。	仙台市標準学力検査 4月11日(木)
	・ 自然環境の特色	6		
5	・ 人口の特色 ・ 資源や産業の特色	6 2	・ 日本の自然環境に関する特色を理解する。 ・ 日本の少子高齢化の課題について考える。	1学期中間考査 6月18日(火)
6	・ 地域間の結びつき	6	・ 日本の資源・エネルギーと産業に関する特色 を理解する。	
7	○ 武士による支配の完成 ○ 天下泰平の世の中	2 4	・ 日本と世界の結びつきの特色を資料から読み 取る。 ・ 江戸幕府の政治の特色を明らかにする。	実力考査 8月22日(木)
8	○ 社会の変化と幕府の対策	5	・ 江戸の農業の変化や産業の特色について地図 や資料を通してとらえる。	
9	○ 九州地方	5 6	・ 幕府が行った改革の結果を考察する。 ・ 九州地方の特色を自然環境の視点から追究す る。	1学期期末考査 9月17日(火) 9月18日(水)
	○ 中国・四国地方	5	・ 中国・四国地方の特色を他地域との結びつき の視点から追究する。	

10	○ 欧米諸国における「近代化」	5	・ 市民革命・産業革命の影響を理解する。	
----	-----------------	---	----------------------	--

## 【2学期】

月	題材	時数	学習のねらい	備考
10	○ 新しい価値観のもとで	4	・ 明治維新による国内の変化を政治と文化の面から考察する。	2学期中間考査
11	○ 近代国家への歩み	6	・ 立憲国家の成立の意義を国内・国外の側面から理解する。	11月18日(月)
12	○ 近畿地方	5	・ 近畿地方の特色を環境問題・環境保全の視点から追究する。	実力考査 1月9日(木)
	○ 中部地方	5	・ 中部地方の特色を産業の視点から追究する。	
	○ 関東地方	6	・ 関東地方の特色を人口や都市の視点から追究する。	
1	○ 帝国主義と日本	3	・ 近代化と国際的地位の変化を考察する。	学年末考査 2月12日(水) 2月13日(木)
	○ 「一等国」の光と影	6	・ 近代化の特色をとらえる。	
	○ 東北地方	6	・ 東北地方の特色を生活・文化の視点から追究する。	
2	○ 北海道地方	7	・ 北海道地方の特色を歴史の視点から追究する。	
3	○ 身近な地域の調査	6	・ 身近な地域における諸事象を取り上げ、地理的なまとめ方の基礎を身に付ける。	

## 4 授業への取り組み方, 準備物

- ・ 毎時間のねらいや課題を確認してから授業に臨みましょう。
- ・ 忘れ物をしないように気を付け、提出物の期限を守るよう心掛けましょう。
- ・ 黒板に書かれたものをノートに写すことだけに集中しないようにしましょう。
- ・ ただ知識を暗記するだけではなく、その知識を活用して、社会の出来事について考えたり表現したりする力が大切です。
- ・ 友達の発表を聞いて、自分の考えと比べ、理解を深められるようにしましょう。

### ○ 準備物 教科書, ノート

- ・ その他, 補助教材等は各担当から授業ガイダンスで連絡をします。
- ・ ノートは地理・歴史・公民の分野ごとに別なノートを準備します。

## 5 家庭での学習方法

- (1) 予習の仕方: 教科書をしっかり読み、重要語句について調べましょう。単に暗記するのではなく、「なぜ?」という疑問をもとに調べるとよいでしょう。
- (2) 復習の仕方: 授業で進んだ範囲の「社会の学習」に取り組みましょう。テスト前に一気にやるのではなく、授業があったその日のうちに復習をしましょう。テスト前にもう一度やれば万全です。
- (3) 新聞を読んだり、ニュースを見たりしましょう。ニュースで出てきた地名を地図帳で調べるのも有効です。現在社会で起きている出来事に関して自分の意見や考えを持つことも大切です。

# 第3学年 社会科指導計画表

使用教科書	使用補助教材	教科担当者	単位数
中学生の歴史（帝国書院） 新しい社会公民（東京書籍）	社会の自主学习 歴史2・3（新学社） 資料集 ビジュアル公民（とうほう） 公民の完全学習（正進社）	1・7組 長江恭子 3組 伊藤由紀子 2・4・5・6組 鈴木正弘	週4時間 年140時間

## 1 教科目標

広い視野に立って社会に対する関心を高め、様々な資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深める。そして、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者としての必要な公民的資質の基礎を養う。

- (1) 地理的分野では、日本や世界に対する関心を高め、その地域の特色や課題を様々な資料を適切に考察しながら、共通性や特殊性を多面的・多角的に認識するとともに、それを表現する能力や態度を育てる。
- (2) 歴史的分野では、日本や世界の歴史的事象に対する関心を高め、その時代の特色や時代の変容について様々な資料を適切に活用しながら理解するとともに、それを多面的・多角的に考察し表現する能力や態度を育てる。
- (3) 公民的分野では、現代の社会的事象に対する関心を高め、民主主義の意義、国民生活や経済活動、国際関係や世界平和について様々な資料を適切に収集し、多面的・多角的に考察しながら適切に表現する能力や態度と公民としての必要な教養を培う。

## 2 評価の観点と評価方法

観 点	観 点 ご と の め あ て	
	評 価 の 方 法	
関心・意欲・態度	社会に関心を持ち、授業に意欲的に取り組むことができる。	
	授業への参加姿勢、学習課題や自己評価カードへの取り組み方、提出物など	
思考・判断・表現	社会的事象の意義や特色、課題について、多面的・多角的に考察している。	
	定期考査、授業中の発表の様子、話し合い活動の様子、自己評価カードなど	
資料活用の技能	様々な資料から有用な情報を適切に選択し、読み取り、図表などにまとめている。	
	定期考査、学習課題への取り組み方	
知識・理解	社会的事象の意義や特色、相互の関連を理解し、その知識を身に付けている。	
	定期考査、学習課題（朝学習、ワーク、予習プリントなど）への取り組み方	

## 3 学習計画 【1学期】

月	題 材	時数	学 習 の ね ら い	備 考
4	○ オリエンテーション	1		仙台市標準学力検査 4月11日（木）
	○ 第一次世界大戦と民族独立の動き	7	・ 第一次世界大戦の原因や概要について理解し、民衆の政治参加への意欲の高まりを考察する。	
	○ 高まるデモクラシーの意識	4	・ 世界恐慌の原因について理解し、各国の対応などの違いを考える。	
5	○ 軍国主義と日本の行方	6	・ 第二次世界大戦の原因や概要について理解し、ヨーロッパとアジアの動きを比較して考える。	1学期中間考査 6月18日（火）
	○ アジアと太平洋に広がる戦線	4	・ 第二次世界大戦後の日本の民主化と国際社会への復帰について、世界の動きと関連させながら理解する。	
6	○ 敗戦から立ち直る日本	4	・ 高度経済成長以降から現在までの日本と世界の動きを、国民の生活と関連させて理解する。	実力考査① 7月8日（月）
	○ 経済大国 日本	3	・ 冷戦終結から現在までの日本の歩みを理解する。	
7	○ これからの日本と世界	6	・ 現代社会の諸問題について理解する。	
	○ 現代社会の特色と私たち	4	・ 現代社会における文化の意義を理解する。	
	○ 私たちの生活と文化	6	・ 「対立と合意」、「効率と公正」について理解する。	
	○ 現代社会の見方や考え方	6	・ 日本国憲法の制定の意義を、大日本帝国憲法	

8	○ 人権と日本国憲法	8	と比較しながら、憲法の基本原理について理解する。 ・ 日本国憲法に定められている基本的人権の種類や内容を、具体的な事例を通して理解する。	実力考查② 8月22日(木)
9	○ 人権と共生社会	5	・ 社会の変化にともなって人権の考え方が変化することを、具体的な事例を通して理解する。	1 学期末考查 9月17日(火) 18日(水)
10	○ これからの人権保障	7	・ 国民の積極的な政治参加が議会制民主主義を支えていることに気付き、政治に関心を持つ。	実力考查③ 9月25日(水)
	○ 現代の民主政治	11	・ 国会・内閣・裁判所の仕組みと働きについて理解する。	
	○ 国の政治のしくみ			

## 【2学期】

月	題 材	時数	学 習 の ね ら い	備 考
10	○ 地方自治と私たち	7	・ 地方自治の仕組みについて理解するとともに、地方財政の仕組みや課題について理解する。	実力考查④ 10月18日(金)
11	○ 消費生活と経済	6	・ 具体的な事例から、経済活動の意義や消費者の権利について理解する。	2 学期中間考查 11月5日(火)
	○ 生産と労働	5	・ 企業の働きや株式会社の仕組み、現代企業の特徴と課題について理解する	
12	○ 価格の働きと金融	6	・ 市場経済の基本的な考え方や価格の決め方	
1	○ 政府の役割と国民の福祉	5	・ 役割、金融の働きを理解する。	
	○ これからの経済と社会	5	・ 財政や租税の役割について、主権者として関心を持ち、課題を意欲的に追究している。	実力考查⑤ 1月9日(木)
2	○ 国際社会の仕組み	6	・ 国際社会が抱える諸問題について関心を高め、その解決のための努力について理解する。	学年末考查 2月12日(水) 13日(木)
	○ さまざまな国際問題	6	・ よりよい社会を築くために解決する課題にはどのようなものがあるか、考える。	
	○ これからの地球社会と日本	6		
	○ より良い社会を目指して	6		

## 4 授業への取り組み方, 準備物

- ・ 毎時間のねらいや課題を確認してから授業に臨みましょう。
- ・ 忘れ物をしないように気を付け、提出物の期限を守るよう心掛けましょう。
- ・ 黒板に書かれたものをノートに写すことだけに集中しないようにしましょう。
- ・ ただ知識を暗記するだけでなく、その知識を活用して、社会の出来事について考えたり表現したりする力が大切です。
- ・ 友達の発表を聞いて、自分の考えと比べ、理解を深められるようにしましょう。

## 5 家庭での学習方法

- (1) 予習の仕方：教科書をしっかり読み、重要語句について調べましょう。単に暗記するのではなく、「なぜ？」という疑問をもとに調べるとよいでしょう。
- (2) 復習の仕方：授業で進んだ範囲のワークに取り組みましょう。テスト前に一気にやるのではなく、授業があったその日のうちに復習をしましょう。テスト前にもう一度やれば万全です。
- (3) 新聞を読んだり、ニュースを見たりしましょう。ニュースで出てきた地名を地図帳で調べるのも有効です。現在社会で起きている出来事に関して自分の意見や考えを持つことも大切です。